

# 唐代の医薬書と敦煌文献



[唐代の医薬書と敦煌文献 下载链接1](#)

著者:岩本篤志

出版者:KADOKAWA/角川学芸出版

出版时间:2015-3-25

装帧:单行本

isbn:9784046536075

中国歴代王朝において医事を管轄し、医術者を養成した組織は、どのような歴史的契機で設置されたのか。南北朝時代から唐代を中心に、敦煌本と日本伝来写本の医薬書の分析をふまえて論証する。

作者介绍:

岩本 篤志（イワモト アツシ）

1970年静岡県生まれ。早稲田大学教育学部社会科（地歴専修）卒、早稲田大学大学

院文学研究科博士後期課程史学（東洋史）単位取得退学。博士（文学・早稲田大学）。東洋史、特に敦煌文献、医薬文献の研究。財団法人東洋文庫奨励研究員、新潟大学大学院助手、同大学院助教を経て、現在、立正大学文学部史学科専任講師。

目録: 導論 南北朝から隋唐の医薬と社会 — おもに出土文献とのかかわりからみた

第一部 北朝における医事制度 — 尚薬典御・徐之才を中心に

第1章 北齊政権の成立と「南士」徐之才

第2章 北齊・徐之才『薬対』と尚薬局の誕生

第3章 南北朝から隋唐への医薬書の継承 — 『史記』正義・索隱所引『薬対』考

第二部 唐朝における医事制度と本草書 — 敦煌本『新修本草』の研究

第4章 『新修本草』序例の研究 — 敦煌秘笈本を中心に

第5章 唐朝の医事政策と『新修本草』 — 本草書と土貢

第6章 紙背からみた敦煌における『新修本草』

第7章 貝葉形本草考 — 敦煌における本草書と社会

第8章 敦煌本『新修本草』校注

第三部 西域出土文献と日本文化

第9章 六朝隋唐五代と日本における『霊棋経』

第10章 敦煌吐魯番「発病書」小考 — ロシア・ドイツ蔵文献の試釈と『占事略決』との比較を通して

結論

あとがき

索引

英文目次

・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[唐代の医薬書と敦煌文献\\_ダウンロード1](#)

标签

敦煌学

敦煌

唐

评论

-----  
[唐代の医薬書と敦煌文献\\_ダウンロード1](#)

书评

-----  
[唐代の医薬書と敦煌文献\\_ダウンロード1](#)